

○活動の感想

- ・今回も、申し込み開始翌日には定員いっぱい、特別にお入れする方々を含めると60名近くなっています。新しい参加者も増えてきて嬉しい悲鳴です。
- ・地域からだけでなく、他県からの応援サポートもあり、まんじゅうやジャム、ラスク、みかんなどが送られてきてとても嬉しく助かりました。
- ・今回はクリスマスディナーとしたので、メニュー数が多く、お皿いっぱいになりました。
- ・メニュー数が多い分、ボランティアの皆様もたくさん頑張ってくださり、時間までに仕上がりました。感謝です。
- ・盛岡医療福祉専門学校の学生さんが、こども食堂について研究していて、実際の様子を見にきて、ボランティアの方々や参加者に質問などしていました。お役に立って、若い人も大人もみんなで健全で安心の場を作っていくことができる将来を期待します。
- ・今回までにスタッフはインフルエンザの予防接種を受けて臨みました。参加者もインフルエンザで欠席される方はなく、感謝でした。

○今後の課題

- ・クリスマスディナーということで、いつもより少しメニュー数が多くしましたが、盛り沢山で多すぎたようでした。
- ・久しぶりに常連参加の大人の方々へアンケートを書いてもらいました。希望メニューや、こどもが嫌いな食べ物に関して、感想、要望などをお聞きしたところ、「こどもたちはいつも楽しみにしている」「嫌いな食べ物も小さく切るなどして食べさせたい」「配膳時にこどもひとりひとりに合わせた配膳量にできるとよい」など、参考になりました。
- ・冬はあたたかいものが冷めやすいので、ホットプレートなどがもう少し必要。ブレイカーが落ちやすいので、賢く使い分けることも必要です。
- ・翌月の申し込みが受付開始日に競走のように申し込みが殺到し、ほぼ満席となり、キャンセル待ちの方が生じる事態となっているため、定員数を増やしたいところですが、調理する側もテーブルのキャパシティも限界があるので、今後、ニーズに応えるにはどうしたらよいか、検討課題です。
- ・2019年もあらゆる災いから守られたこと、たくさんの方々の愛のご協力を感じます。

○活動の様子



